

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査書

(1) 取組名	シニアタウン構想 リフレッシュライフ in 青島 プロジェクト		
(2) 実施団体名	特定非営利活動法人 サンシティ宮崎	(3) 対象地域	宮崎県宮崎市青島地区
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	

(6) 実施した取組の内容	<b>取組①</b>	コミュニティセンター運営事業	
	実施主体	特定非営利活動法人 サンシティ宮崎	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	
		<p>○コミュニティセンター運営活動 新設するコミュニティセンターを核にシニアタウンの全体的な企画・運営を行い、移住希望者への窓口機能も果たします。</p> <p>○趣味づくり活動 シニアの永年蓄積した特技や経験を活かして平成20年度は健康づくり及び地元住民と移住をしていくシニアの方々の交流に資するため、貸農園での農作業体験活動を実施します。</p> <p>○生活カウンセリング・ホスピス活動 シニアの抱える肉体的、精神的、社会的な問題について支援します。心から安心して生活できるように医療、法律、金融、保険、税金等の各種手続きに関する専門家による相談会・カウンセリング活動を実施します。</p> <p>○ニューファミリーホームモデル活動 既存の老人ホームやグループホーム、無機質な施設ではない心の通ったファミリーホームを賃貸住宅において試験的に実施します。これは増加しているひとり暮らしのシニア世帯の解消にもつながる全国初の取り組みです。</p> <p>○講演・シンポジウム活動 シニアタウン構想の紹介やニューファミリーホームの考え方や移住地としての宮崎の優位性等を訴えるため講師を招き、県内3箇所で開催及びシンポジウムを開催します。同活動を実施することによりシニア世代における自立した積極的生活の啓発に資するものです。</p>	
実際の取組内容及びその結果			
		<p>○コミュニティセンター運営活動 平成20年9月24日に開設し、開所式には青島地区区長・民生委員・地元の協力者等65名が出席し、報道関係者が4社来場されました。シニアタウンの全体的な企画・運営を行い、移住希望者への窓口機能も果たすという目的のもと県外への広報紙・パンフレットの送付及び、広報活動を行っている。</p> <p>○趣味づくり活動 平成20年度は青島地区と佐土原地区の二か所に畑を借り、健康づくりと地元住民と移住をしていくシニアの方々の交流と地域の活性化に資するため、貸農園での農作業体験活動を実施しています。</p> <p>○生活カウンセリング・ホスピス活動 各種手続きに関する専門家による相談会・カウンセリング活動は宮崎県内4カ所で開催予定。その内、青島地区会場(11月22日、コミュニティセンター内、相談件数17件)及び日向会場(12月20日、日向市中央公民館、相談件数15件)で実施。</p> <p>○ニューファミリーホームモデル活動 ファミリーホームを予定していた借家の賃貸借契約が家主様の事情により12月末にずれ込んだ為、1月から3名の参加者に入居していただき、試験的に実施しています。</p> <p>○講演・シンポジウム活動 県内3箇所の内、12月13日に宮崎県芸術文化協会会長渡辺綱纒氏、ケアハウス小平開設者長谷方人氏等のパネリストを招き、宮崎市民プラザ(オルブライトホール)で「シニアのライフスタイルと住環境を考える」と題してシンポジウムを開催。来場者75名。</p>	
	<b>取組②</b>	移住者誘致・定着事業	
	実施主体	特定非営利活動法人 サンシティ宮崎	
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果
	<p>○情報発信活動 宮崎市青島地区の魅力を全国の移住希望者に向けて貰うための情報発信を行います。具体的にはインターネットを利用したホームページによる移住案内、生活情報、不動産情報の発信を行います。 同時に全国各地の地方自治体への移住希望者誘致の広報、パンフレット送付を行い、移住希望者の多い大都市圏へは当会理事数名による広報活動を実施します。</p> <p>○体験・滞在活動 上記情報発信に伴い、応募のあった移住を考えている方を対象にした短期・中期滞在による生活体験事業などを実施し、宮崎の魅力を体感して頂きます。</p> <p>○シニアの全国交流活動 「シニアの主張全国大会」を大々的に行うため、全国各地地方テレビ局や新聞社への広報を強力に行います。全国から沢山のシニアの方に応募していただき、他の世代の方々にもシニアの主張や体験、思いを知って頂く一助とし、ひいては開催地である宮崎への興味を持っていただくようにします。</p>		<p>○情報発信活動 宮崎市青島地区の魅力を全国の移住希望者に向けて貰うための情報発信を行います。具体的にはインターネットを利用したホームページによる移住案内、生活情報、不動産情報の発信を行っています。移住体験ツアーリーフレットを3000部を県外の報道各社・宮崎県東京事務所・同大阪事務所・同福岡事務所に発送。また、電話による広報活動も行っている。</p> <p>○体験・滞在活動 ホームページを通しての応募が2組、県外への広報活動(パンフレット等)を見ての応募が九州管内で2組大阪から1組、合計8名の方が参加して青島・日南体験ルアーを実施しました。宮崎・青島の良さを実際に知ってもらうために、移住を考えている方を対象にした短期滞在による生活体験事業をあと1回実施し、宮崎の魅力を体感して頂きます。</p> <p>○シニアの全国交流活動 平成21年3月6日開催予定の「シニアの主張全国大会」に向け、全国各地地方テレビ局や新聞社への広報を行っています。全国の報道各社や企業へのパンフレット5000部を送付及びホームページを媒体として、各地から問い合わせや原稿が寄せられており、12月末現在の応募原稿は60篇が寄せられています。</p>

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点
	<p>法的な面では行政書士・建築士・社会保険労務士等で活動する「NPO法人タグポート21」、街づくり活動をする「NPO法人宮崎iクラスター」、また介護事業を行う「企業組合 夢・みらい」があり、県外団体では「有暁記念交流基金」があります。また宮崎市・宮崎県の担当課はもちろん、青島地区の街おこし団体、青島神社、自治会等とも随時連絡をとり協力をお願いしております。「NPO法人 タグポート21」「企業組合 夢・みらい」は生活カウンセリング・ホスピス活動における無料相談会の相談員として協力します。「NPO法人 宮崎iクラスター」はシンポジウム活動におけるパネラー派遣及び、本活動全般につき協働します。「有暁記念交流基金」はシンポジウムのパネラー派遣と共に移住情報の提供等で協力します。</p>		<p>計画どおり、各団体との役割分担はスムーズに行われている。今回の事業では関連するたくさんの活動を行っているが、それぞれ波及効果や相乗効果を上げつつ進行している。</p>
(8)取組により得られた成果	○成果1→	コミュニティセンター活動	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		なし	ファミリーホーム利用者3名・講演会・シンポ参加者300名・生活カウンセリング無料相談会200名
	H20(実際に得られた成果)		
	<p>・ファミリーホームモデル活動 当初、平成20年11月頃より参加者の居住体験を実施する予定であったが、予定していた借家の借入が遅れたため平成21年1月より3名の参加者に入居して頂き、現在居住体験を実施している。</p> <p>・講演・シンポジウム活動 今年度事業期間中に3か所の会場において、参加者合計300名を目標にシンポジウムの開催を計画し、1回目は平成20年12月13日に宮崎会場で開催したが、参加者75名であった。平成21年2月と3月に開催するシンポジウムにおいては事前の広報に力を入れ、参加者を増やして最終的には目標の300名を達成できると思います。</p> <p>・生活カウンセリング・ホスピス活動 無料相談会を事業期間中に4回実施する計画であるが、1回目(宮崎会場)は相談件数17件、2回目(日向会場)は相談件数15件の合計32件であった。テレビ局・ラジオ局等に依頼して告知報道や新聞広告等をきめ細かく行い来場者を増やし最終的に4会場合計で120件程度に持っていきたい。</p>		
	○成果2→	移住希望者への情報発信と移住者の定着活動	
	H19	H20(当初予定していた目標)	
	なし	移住希望者5組	
H20(実際に得られた成果)			
<p>当会のホームページ、県内外各地の報道機関・各自治体等へ送付したパンフレット及びリーフレット等による広報活動により、平成20年12月度の第1回移住体験ツアーの応募者が5組あり、本年3月に予定している第2回目の体験ツアーの反響もかなりあるのではないかと予想しています。最終的に10組程度の移住体験希望者があるものと考えています。また、平成21年3月6日開催予定の「シニアの主張全国大会」への全国からの応募原稿は、平成20年12月末現在60篇が寄せられていますが、開催時までには100篇程度の原稿が寄せられるものと期待しています。移住体験やシニアの主張を通じて宮崎青島の認知度が全国的に上がり今後、移住希望者が増加するようさらに活動を強化していきたい。</p>			

<p>(9) 今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<p>当初の計画では平成20年10月からスタートする予定であったが、本事業の委託契約に伴う資金調達に苦勞し考えていたより遅くなってしまった為、パンフレット等の印刷物の発注が11月になり各資料送付先への発想が11月末になり、広報活動及び情報発信の立ち上がりが遅くなってしまった。その中で12月末現在移住体験ツアーの参加者が8名、「シニアの主張」の原稿応募が60篇あり県外からの各種問い合わせがかなりの件数あったことは、立ち上がりの遅れを差し引いてもまずまずの結果が出せたのではないかと思います。残りの期間は僅かですが、本県への潜在的な移住希望者の掘り起こしに努めるべく広報に力を入れていきたいと思ひます。</p>	
<p>(10) 平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>平成20年度に実施した各取組の内容と結果を精査し、平成21年度は安全・安心なシニアライフの発信地として、宮崎・青島の他地域に勝る優位性をさらにアピールして全国から移住者を募る活動を充実させていきます。</p> <p>平成22年度においては青島地区で得た実績を基に同様の事業を宮崎県下一円に拡大し、高千穂、延岡、日向、西都、綾、都城、日南の各地でそれぞれの特色を活かした事業を行っていきます。</p>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>当会が推進するシニアタウン構想(宮崎の地にシニアの理想郷を創る)を実現するための各取組は、それぞれ連動して一体となっています。21年度はさらに広範囲な活動を展開していきますが、特に取組②の移住者誘致・定着事業について、約半年間の活動では時間的に全国の移住希望者の方々への広報が不十分であると思ひますので、全国各地への広報と宮崎市青島地区の魅力の情報発信に力を入れたいと思ひます。よって21年度における調査費として概算で800万円の予算措置を要望します。</p> <p>○今後の事業展開(継続事業)</p> <p>県外移住希望者への広報・誘致活動の徹底  移住体験ツアーの実施  移住者との各種交流事業及び定着事業  移住希望者及び移住者へのアンケート調査実施</p>

# リフレッシュライフ in 青島プロジェクト(宮崎県青島地域) -サンシティ宮崎-

## ◆主な実施取組の内容◆

※視認可能な文字サイズで必ず1頁で収まるよう要点を絞って作成すること。(2頁以上に渡る資料は認めない)

### 取組①：コミュニティセンター運営活動

実施主体：特定非営利活動法人サンシティ宮崎

実施内容

○地域交流会



○無料相談会



シンポジウム



○農園①(趣味づくり活動)



### 取組②：移住者誘致・定着事業

実施主体：特定非営利活動法人サンシティ宮崎

実施内容

○チラシ配り(山形屋デパート前)



○移住体験ツアー(青島神社)



○体験ツアー希望者面談



○テレビ東京取材



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

地方の元気再生事業における当会の活動である「コミュニティセンター運営事業」及び「移住者誘致・定着事業」は、実質的にまだ3か月の活動でしかありませんが、それでも移住体験ツアーの応募者や数多くの「シニアの主張」原稿応募があり、また東京のテレビ局の取材等、かなりの反響及び認知が得られつつあるものと考えています。まだまだ足りない面が多々ありますので、今後はもっと広報活動を行い宮崎への移住希望者の掘り起こしに努めていきたいと思ひます。